

SheetWorks動作環境

使用OS	Windows NT Workstation 4.0 (ServicePack5以上を適用)
必須メモリー	256MB以上推奨 (最低128MB以上)
ディスク容量	約200MB以上 (モデルデータ別)

動作環境についての詳細は、販売担当者にご相談ください。

SolidWorks addin software

SheetWorks for Design



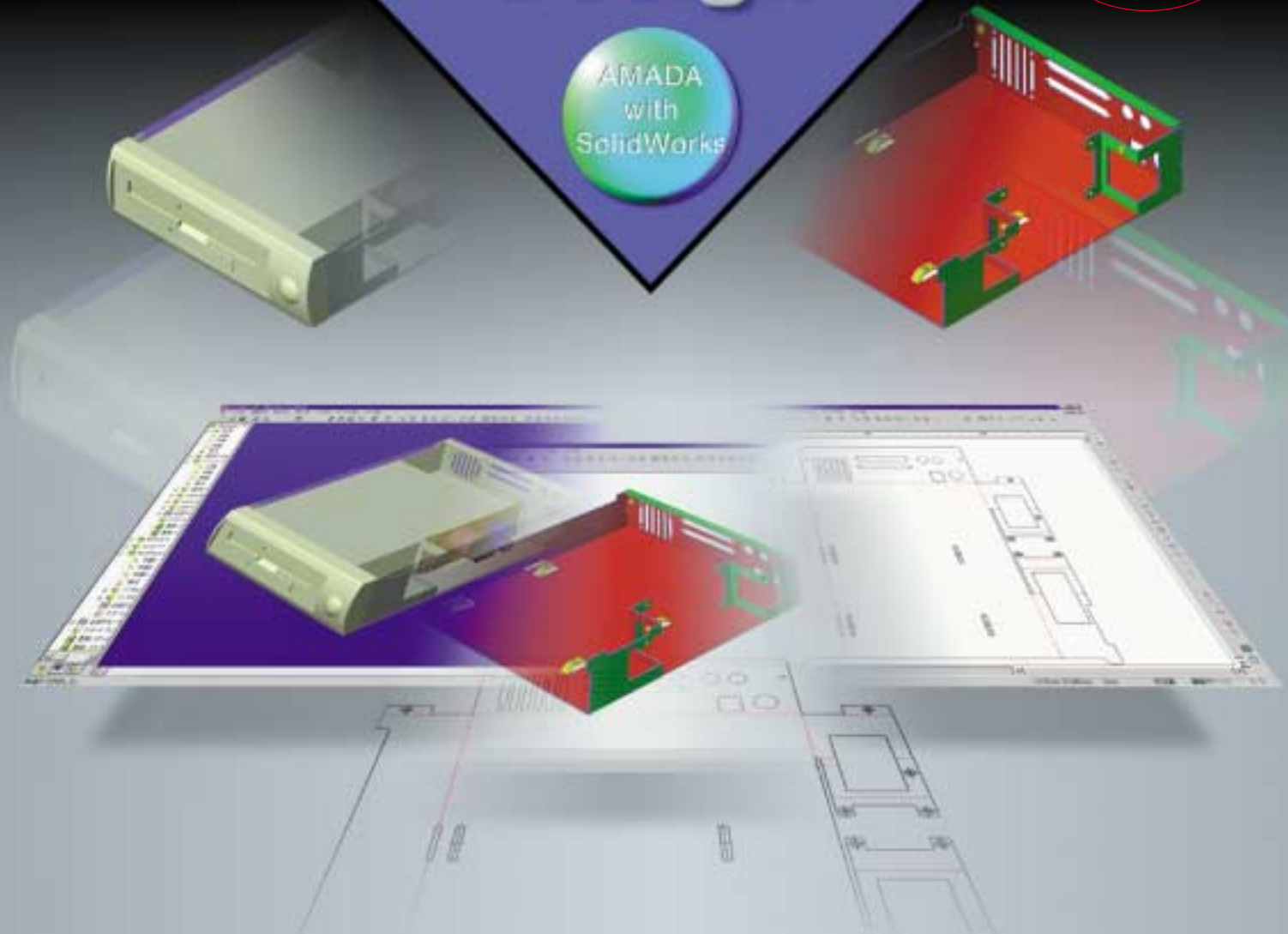
for Design


SolidWorks addin software


SheetWorks for Design



Windows
完全準拠



 安全に正しくお使いいただくためにご使用前に必ず取り扱い説明書をよくお読みください。

 株式会社 アマダ

〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田200 TEL(0463)96-1111(代)
 ペンディング事業部 TEL(0463)96-3314(直)
 パンチング事業部 TEL(0463)96-3391(直)
 レーザー事業部 TEL(0463)96-3401(直)
 システム事業部 TEL(0463)96-3405(直)
 FAソフト事業部 TEL(0463)91-8095(直)
<http://www.amada.co.jp>



 **AMADA**
 人にやさしくシステムアップ

板金特化のSheetWorks for Design。 その最大の強みは設計モデルを正確なCAMデータとして流用できること。

SolidWorks addin software

SheetWorks for Design

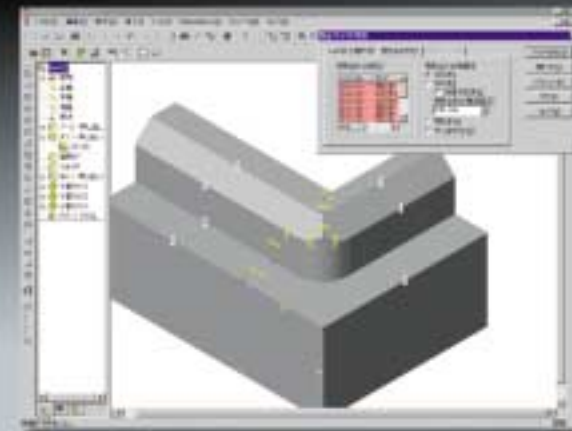
どんな複雑な形状も簡単にモデリングできるSolidWorks。この強力な3次元ソリッドモデラーの基本機能に、板金に特化したSheetWorks for Designをアドインすると、板金設計・加工に圧倒的な強みを発揮します。「快適な設計環境づくり」。これももちろん大切なことですが、同時に見逃せない視点は「加工を前提にしたモデリング」です。「これまでの薄肉シェルは、形状を表現するだけ。モデルの情報が不完全なため、そのモデルを生産サイドに渡しても正確な生産処理が行えない」。これは、板金の分野ではしばしば見られる現実です。SheetWorks for Design。その最大のメリットは、設計者がデザインしたモデルを生産サイドのCAMデータとして、完璧ともいえるほど流用できるという点です。

設計・生産を自社で一貫して行っているお客様では...
真の意味でのCAD/CAM一貫生産体制が整い、生産効率を飛躍的に高めることが可能になります。

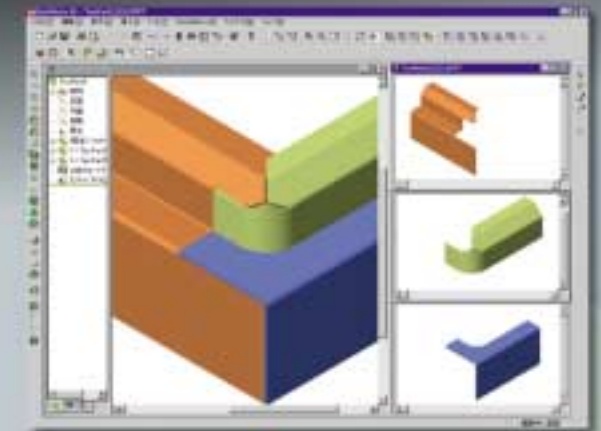
製造工場を営むお客様では...
SheetWorks for Unfoldで受ければ、一発展開。生産現場に負担を強いることなく、CAM側へスムーズにつながります。

SheetWorks for Design 実力が確実な効果を生み出します。

設計者のつくったデータがCAM側で使えない。
こんな問題も、SheetWorks for Designでいっきに解決！



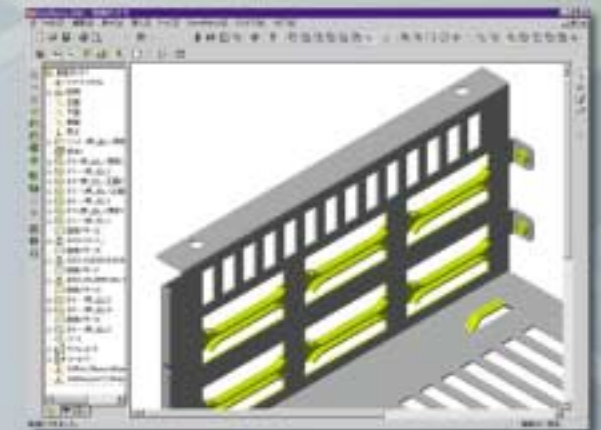
突き合わせ・重ね合わせ部分
(薄肉シェルモデル)



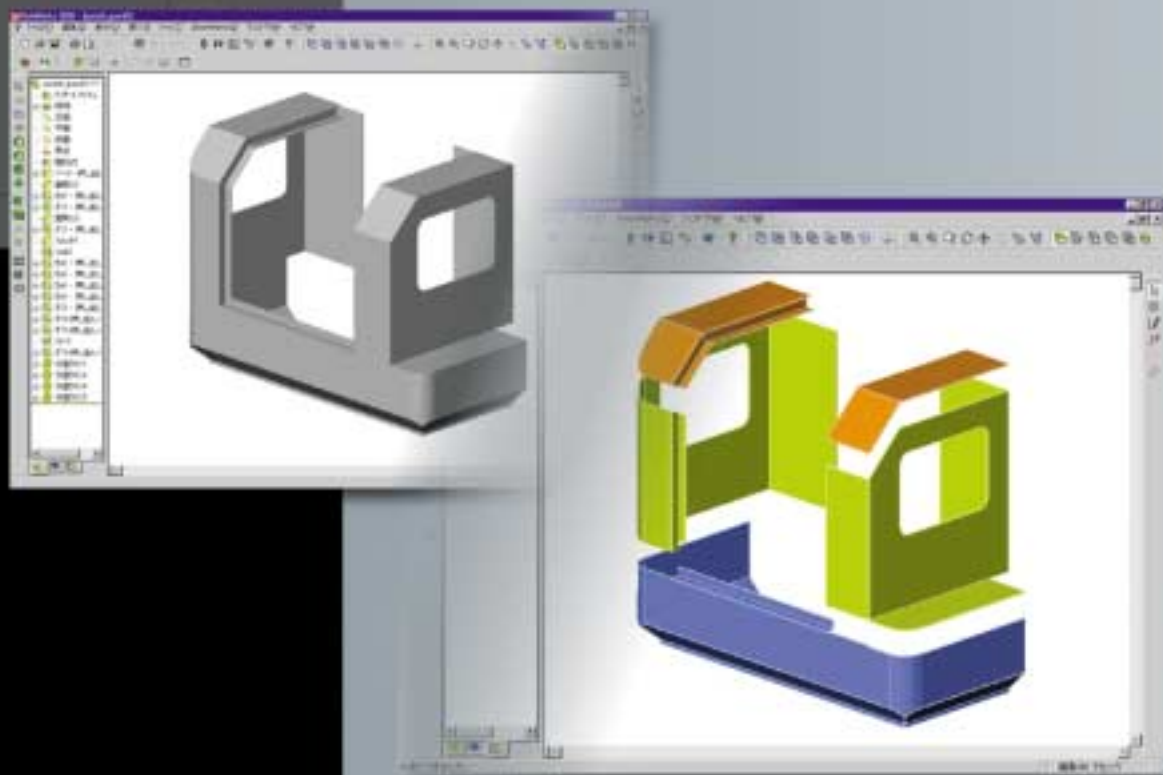
突き合わせ・重ね合わせ
(SheetWorksにて処理)



板金加工ライブラリー

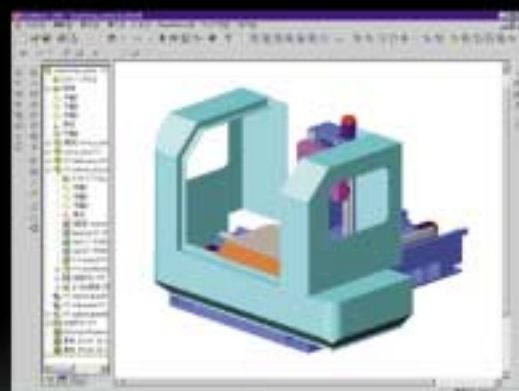


一言で突き合わせ・重ね合わせといっても、形はさまざまです。板金モデル作成では、板と板が突き合わされるすべてのコーナー部分において、板厚分のオフセット量を考慮したモデリングが必要になります。複雑な形状の重ね合わせ部分では、隙間や干渉を起こさないようモデリングする必要があります。SheetWorks for Designは、こうした設計者にとって複雑で面倒な作業を自動処理。正確な板金ソリッドモデルを、いとも簡単につくり上げることができます。



操作简单! 外形形状はSolidWorksを使って作成し、SheetWorks for Designで複数のパーツに分解。
そして、いっきにソリッドモデルの自動作成へ。

トップダウン設計モデル(薄肉シェル)



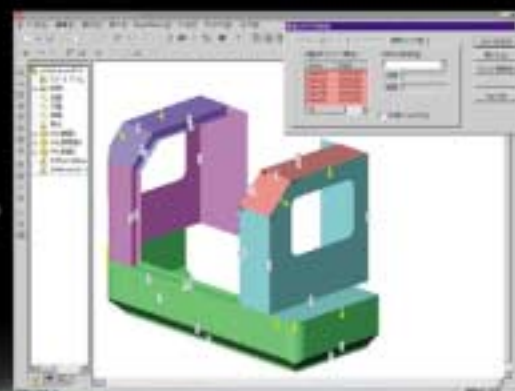
トップダウン手法で描かれた薄肉シェルモデルを、正確な板金ソリッドモデルとして再構築します。

板金形状認識



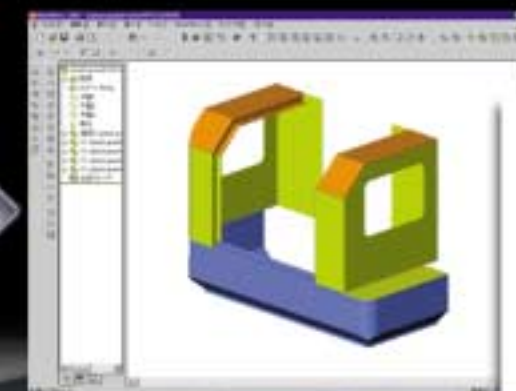
薄肉シェルから表側のサーフェスを認識します。

板金化定義



表側のサーフェスの各エッジ(角)に曲げ、突き合わせの設定を行います。

板金ソリッド化



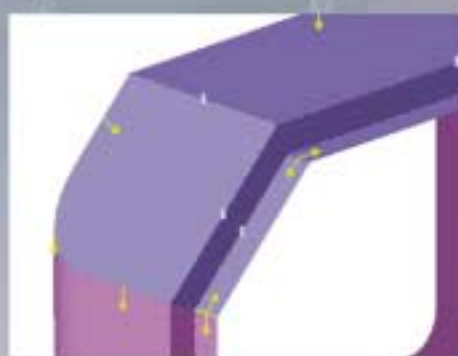
1部品の薄肉シェルから複数部品で構成される板金ソリッドアセンブリモデルが作成されます。

バラ図



ここがポイント「板金化定義」

各エッジ(角)に対して曲げ・突き合わせの設定を行います。曲げはエッジごとに、内Rを指定することができます。突き合わせはエッジごとに、片引き・両引き・すり合わせなどのパターンが選択できます。分割される部品をプレビュー表示で色分けして確認できます。



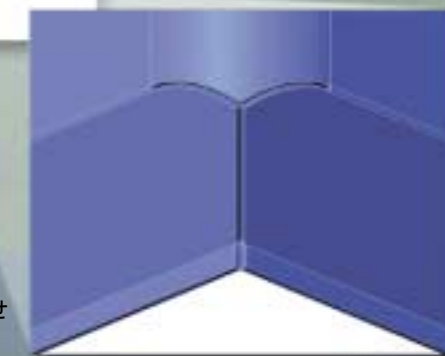
複数の材質・板厚に対応します。構成されるパーツが複数である場合にも、それぞれに材質・板厚の設定が可能です。

ここがポイント「板金ソリッド化」

板金化定義が施されたペーパーモデル(板厚のないモデル)に対して自動で板厚を付加します。板厚のついた板金モデルを板金ソリッドモデルと呼びます。板と板の取り合い、コーナーの重ね合わせ、曲げ設定などの「板金化定義」に基づき、正確な板金ソリッドモデルが作成されます。板金ソリッドが自動で行われるため、板厚を考慮した補正計算はいっさい不要となります。



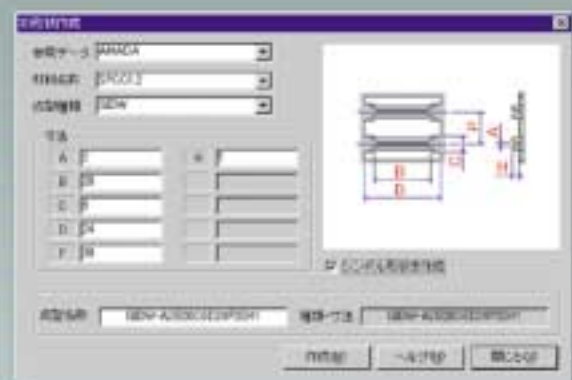
板厚が付加されたコーナー部。重ね合わせ設定に基づき、忠実に作成されます。



加工属性情報つきフォームフィーチャー (板金加工ライブラリー)を使い、CAM側を効率化。

板金加工ライブラリーを提供します。

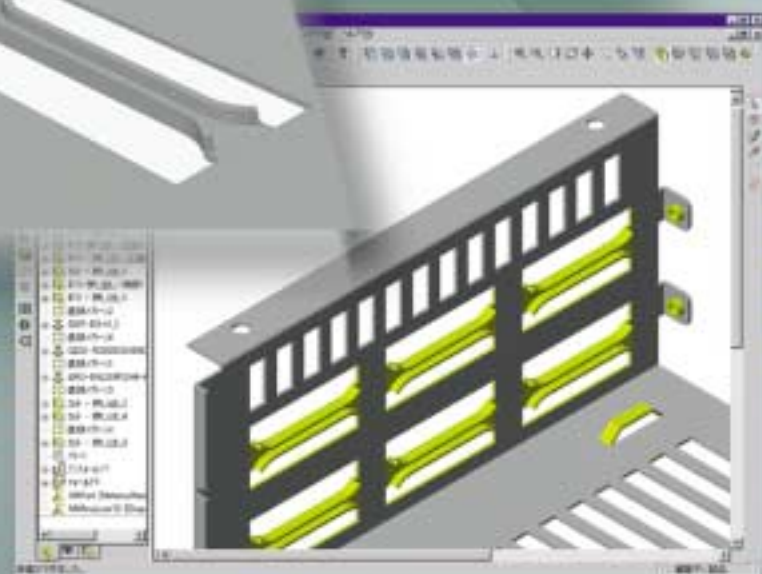
パーリング・ハーフシャー・エンボス・ルーバー・ガイドレールなど、JIS規格の成形形状を多数用意しています。NCタレットパンチプレスの加工属性情報(使用ツール名称、多工程情報など)を含んだ成形形状をドラッグ&ドロップで配置することが可能。CAM工程で「成形金型の自動割り付け」を行うことができます。材質・板厚に絞り込んだ一覧を表示。加工不可能な形状を配置するミスを防ぐことができます(設計制約)。



ライブラリーの登録
お使いの成形形状を材質・板厚ごとに登録できます。



ドラッグ
&
ドロップ



CADからCAMへ。 設計モデルを切断から曲げまで有効活用!

SheetWorks
for
Design

SheetWorks for Designで作成したモデルなら、生産サイドのSheetWorks for Unfoldで受けて一発展開。展開図には成形金型・曲げ線など、板金加工属性情報が付加され、タレットパンチプレス、レーザー加工機、プレスブレーキのCAMシステムにシームレスにつながります。

SheetWorks for Unfoldで展開すれば、ベンディング自動プロ「BEND/CAM」が走ります。

Design



Manufacturing